

創造・誇り・愛！ 輝く七中 煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 水越 伸朗

学校だより

第3号

令和4年6月14日



とちのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511 FAX (042) 531-6103



七中 HP URL

運動会を終えて

校長 水越 伸朗

5月28日(土)、第45回運動会を開催しました。各ご家庭1名という制限は設けさせていただきましたが、3年ぶりに保護者の方に参観していただくことができました。子どもたちも、参観していただけること、そして午後まですべての競技を実施するという事で、一生懸命に競技や係活動に取り組んでいました。その姿はとても立派でたくましく、教育目標の「たくましく鍛えみずから創る」を実現させたように感じました。

また、保護者の方からのアンケートには、お子様の成長した姿や運動会全般に係る感想が多数寄せられていました。それらの感想からは、ご家庭においてもお子様を励まし、応援している様子が感じられ、あらためて保護者の皆様のご理解があつての教育活動であることを実感しました。

1学期の大きな行事が終わりました。これからも様々な学校行事が行われます。子どもたちが、学校行事を通してさらに大きく成長していくことを願っております。

13日の朝礼では、運動会に関連して、「一生懸命がカッコいい」という題で話しましたので、その一部を紹介します。

<前略>

今回の運動会を終えて、皆さんは先生方から褒められたと思います。また、多くの方が、仲間や先輩、後輩の競技に打ち込む姿を見て「すごいな～」と感じたことでしょうか。このように、周りの人たちから褒められたり、「すごいな～」と感じるのはなぜでしょうか。それは、競技や係の仕事に一生懸命に取り組んだからです。そして、見ている周りの人には、一生懸命な姿が映り、一生懸命さを感じる事ができたからなのです。

少し前の時代、中学生を含む若者の間で、一生懸命に取り組むことを馬鹿にしたり冷やかしたりする、とても嫌な風潮がありました。日頃の係活動にまじめに取り組んでいる人に対して「何かカッコつけてるの」とからかう。汗まみれになりながら部活動で練習をしている人に対して「何そんなにまじめにやってるの、つかれるだけじゃない」と冷やかす。合唱コンクールに向けて大きな声で歌っている人に対して「何いい子ぶってるの」などと言う。口にごそ出さなくても、こういった態度をとることもありました。周りはとても不愉快な気分になり、不快に感じます。

運動会のようなスポーツに限らず、一生懸命に取り組んでいる姿は素晴らしいものがあります。勉強でもそうです。真剣に授業を受け、問題を解いている姿からは、いわゆる「オーラ」を感じます。音楽でもそうです。心を込めて歌っている姿からは、熱い想いを感じます。仕事でもそうです。物作りの職人さんが真剣に作業に取り組んでいる姿からは近寄りがたい雰囲気と崇高さを感じます。このように真剣な様子、一生懸命な姿は周りの人に感動を与えるのです。そして、「カッコいい」と感じるのです。まさに「一生懸命がカッコいい」のです。何事にも真剣に、一生懸命に取り組む七中生、そして大人になることを期待しています。 <後略>

第45回 運動会

～3年ぶりのフルバージョン～

昨年度までは、新型コロナウイルスの影響でできなかった種目も今年度から復活し、保護者の方にもご参観いただき、運動会を行うことができました。

天候にも恵まれ、生徒たちはマスク越しでも伝わってくるほどの笑顔で、楽しみつつも全力を出し切ってくれました。

運動会後、保護者アンケートを実施し、たくさんのご意見・ご感想を頂きました。ご協力ありがとうございました。



道徳授業地区公開講座 5月14日(土)

5月14日、全学年対象に「生命の尊さ」をテーマに設定し、道徳の授業を行いました。それぞれの学年が命の大切さについて触れ、生徒たちは真剣に向き合っていました。

今回は教室で保護者や地域の方に見てもらうことはできませんでしたが、後日授業の様子を動画配信し、多くの保護者の方に見てもらいました。下記に、視聴後のアンケート結果と、その中からいくつか抜粋したご意見・ご感想を紹介したいと思います。

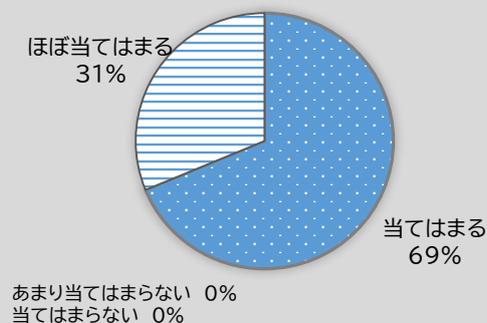
各学年の道徳教材

- 1 学年「決断！ 骨髄バンク移植第一号」
- 2 学年「奇跡の一週間」
- 3 学年「いのちを考える」

★ 授業に対する意見・感想をお聞かせください。

- ・いじめ関係の話かと思っていただけ、貴重な授業と感じました。個人の価値観も大切であること、うちは兄弟がいるため、もっとお互いを大切に思えるようになってほしく、そんな内容を少し理解できたのかもと感じました。
- ・先生の講義の仕方が一方的ではなく、生徒と寄り添うような形で行っており、道徳の授業という特性に合った自ら考える授業の形になっていたと思います。

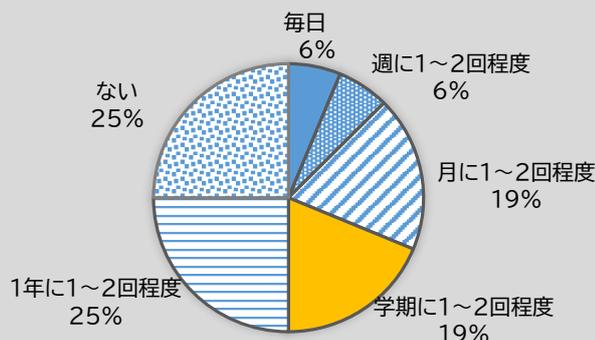
★ 生命の尊さについて生徒の心をはぐくむ道徳の授業でありましたか。



★ 「特別の教科 道徳」の授業を通して、お子様に付けさせたい力などをご記入ください。

- ・自分の周りを取り巻く環境・人間関係などを大切にするだけでなく、自尊心も育てて欲しいと思っています。また失敗してもそれを教訓に、自分自身がステップアップできるしなやかさを身につけて欲しいと思っています。
- ・まさに命の尊さ、命とは何なのか、自分や人の命の大切さを常に感じ、一日一日を悔いなく過ごせる様な人間力を身に付けてほしい。

★ ご家庭でお子様が道徳の授業について話題にするようなことはどの程度ありますか。



動画配信をご覧になった方々、アンケートにご回答して下さった方々、ご協力ありがとうございました。